

男 307,448名
女 313,057名
計 620,505名

ELECTION

～せんきよ
《明選だより》～

ELECTION (エレクトション) とは、英語で「選挙」の意味です。



第75回 明るい選挙ポスターコンクール



←都立六郷工科高等学校 2年生
梁 沃明さん
りやん うおみん



←都立つばさ総合高等学校 2年生
岡留 由依さん
おかどめ ゆい



←都立美原高等学校 3年生
梅本 和花さん
うめもと わか



←都立六郷工科高等学校 2年生
熊本 和美さん
くまもと かずみ

毎年、総務省・都道府県・市区町村が将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を高め、政治意識の向上を図るために「明るい選挙」をテーマとしてポスター作品を募集しています。

令和5年度は、区内在住・在学の小・中学生・高校生から214作品の応募をいただきました。学校関係者の皆様方の多大なるご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

4月23日執行大田区議会議員・大田区長選挙及び 6月4日執行東京都議会議員補欠選挙を振り返って感じたこと

令和5年に執行された2つの選挙において投票管理者・立会人を務めてくださった方や投票所の運営をお手伝いいただいた方に、ご感想などを寄稿いただきました。(原則、原文のまま掲載しております。)

鵜の木二丁目町会 ほりえ としお 堀江 敏雄

投票管理者・立会人をやってみて感じたことについて記載いたします。

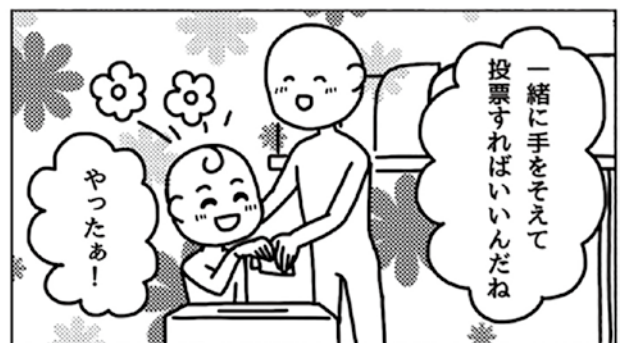
投票所でよく見かける風景に、お子さんとご一緒に来場される家族がごぞいます。ご両親が受付で、入場券を提示し確認できると次に投票用紙を受け記載台に向かいます。子ども達はこの流れをよく見ていて保護者様に質問をします。誰を書いたの？私も書きたいなど。保護者様は、上手に「大きくなったら自分で選んだ方を書くんだよ」「うん」と言いながら周りをしっかり見ています。記載が終わると、次は待ちに待った投票箱です。

記載は出来ませんが、お子さんは出番だと胸を張ります。多くの保護者様は、お子様に「箱に入れてごらん」と子どもさんに投票用紙を持たせます。そこでこの時に立会人は、保護者様と一緒にと一言促すとマニュアルに記載が有ります。が、声掛けは難しく気を使います。さりげなくよくできたね、有難うと声が出せるようになるには時間が掛ります。

矢口二丁目 16 号館自治会 あびる みつこ 安美留 美津子

明るい選挙推進委員にと声をかけられ長年になります。最初の頃はただ投票箱を見つめていた様に思えます。近年は投票管理者として投票事務がスムーズに進み、気持ちよく投票していただけるようとても緊張します。本庁舎では若い女性が「初めての投票立合いです」と一緒でした。地区でも若い人が立会人・投票事務に参加すれば、若者同志の声かけ等で投票率がわずかでも上がる効果を期待したいです。子どもさんが少ないなか家族連れで来て、子どもさんが投票したがる時親の方で「ダメよ!」という様子が見受けられます。近年は親子で一緒に投票箱に入れるよう声かけしてます。子どもさんが楽しんで投票する気持ちを大事にしたいです。超高齢者・車イスの方がたまに連なる時があります。そんな時人が足りないなあと思いました。投票用紙記載台に貼られている立候補名の文字の小ささと混んだ時の記載台の狭さが気になります。

僕も投票したい!



作者:つかはらゆきさん

お子さんだけで投票させずに、必ず選挙人の方が手を添えて投票してね!



選挙のめいすいくん

入新井四丁目町会 ^{くぼた}久保田 かおる

町会の依頼を受けて、明るい選挙推進委員になりました。

コロナ禍で初任者研修が延期になり、わからないままカムカム新蒲田での投票管理者説明会に行きました。

年上の男性ばかりで、あちこちで名刺交換がされていて、私にも求められてびっくりしました。場違いな所にいる気がしましたが、改めて責任のある立場なのだと思います。

初めての従事は、令和4年7月10日の参議院議員選挙でした。不安な気持ちでいましたが先輩方のお陰で、無事に投票管理者を務めることができました。あまりに長い拘束時間は改善する必要があると思います。

会場運営はスムーズに投票できるように、職員とアルバイト、私達をもっと連携を図ることがトラブル防止に繋がると思います。

マイナンバーの利用やネット投票ができるようになれば、投票率が上がるのではないのでしょうか。

南馬込中和会 ^{うすね よしのぶ}薄根 義信

特別出張所での期日前投票の従事にはいつも緊張しますが時には表情がほころぶこともあります。

期日前投票初日に投票箱がカラ（中に何も入っていない）であることを最初の選挙人に、その投票前に確認していただきます。これは厳格な手続きですがこの確認を楽しみにしている方もいらっしゃるようです。寒い時期でも早い時間から投票所（特別出張所）の開くのを待ってくださっているのを見るとうれしくなります。

また投票時にお子さんを伴う方もおいでです。数十年前は子どもが投票所に入ることはできず、当時幼かった私は投票所である小学校の体育館入口で親を待っていた記憶があります。幼児の頃から選挙に親しむことで自身が選挙権を得たときには棄権することなくその権利を大切に行使してほしいものです。選挙人の方と言葉を交わすことは通常ありませんが、いろいろな思いでその投票を見守っています。

鵜の木東町会 ^{かわい いさお}川合 勇夫

大田区議会議員選挙区長選挙は自分達にとって一番身近な選挙で我々の要望を実行する事の出来る人、自分達もどの選挙よりも責任と力が入ります。東京都議会補欠選挙には自分達には考えられない事がある。

区長選に立候補するために都議会議員を辞められて立候補して落選したら二人以上だと又補欠都議会選挙を二人の為に大変な選挙資金を使う事に私には理解できない。

長年投票管理者、立会人をして一日13時間と長い一日ですが大変責任を感じています。

道々橋自治会 ^{いいだ ゆきお}飯田 幸男

選挙前に選挙管理委員会より配布される「投票管理者等の手引」があります。その中に「よくある事例」を読んで感じたことが……私が立会人になる前までは、全く知らない事柄ばかりでした。一般の選挙人の方も同じだと思います。特に「選挙人が記入した投票用紙を同伴する子どもに投函させようとする事例は多くみられます。なぜそういう行動するのか？……それは選挙人が知らないからです！その行動に対して注意をすることで選挙人は不快に思いますよね！知る限り投票所内にそういったルールを掲示している会場はありません。対策としては「投票所への携帯・スマートフォン等の持込み」「投票所に入れる者」「子ども同伴の対応」「投票用紙の記入」などを含めた「投票所内ルール」をイラスト・写真等を入れたポスターを投票所入口・所内に掲示したら、どうでしょうか？

選挙人からすると公職選挙法のルール知って、気持ちよく投票を終えるのが一番だと感じました。

道々橋自治会 ^{たかしの まさよし}高篠 正義

期日前投票所の投票立会人を担当しました。そこで感じたことは、投票率が低い原因の一つに期日前投票は便利であるが、期日が7日間（特別出張所）と長すぎるため、いつでもできるという思いで、つい忘れてしまう……という場合もあるのでは？

期間を短くするとともに現在の期日前投票所は本庁舎と各特別出張所の計19ヶ所に設置してあるが、もっと利便性の良い場所に拡大した方が投票率アップにつながると思います。（短期集中型）

それと従事者の年齢が年々高くなり、長い拘束時間への負担が大きくなっています。

若い年代投票率が低いことが課題となっていますが、投票立会人に若い区職員や学生の従事者を増やすことで、若年層が行きやすい雰囲気になるのではないかと感じています。

時代に合わせた改革が必要であると感じました。

南六郷三丁目町会 みやの のぶ お 宮野 信雄

選挙のたびに毎回手渡される「投票管理者等の手引き」を参照しながら、委嘱された業務を遂行しています。

手引きの最後に「よくある事例」が毎回掲載されていますが、公正を欠く現象が現実には起こった場合、誰が主体的に動くのか、現場の状況により投票管理者または投票立会人が率先して行動を起こすには難点があります。目の前で起こっている状況に対し、一番近くにいるのは投票所の事務に従事する方（アルバイトの方）なので、願わくは迅速に対処頂ければと思っています。投票管理者の席からでは、距離が遠すぎて間に合いません。

なお、それぞれの職務内容には投票が公正に行われるよう監視するのは投票立会人となっており、「よくある事例」のケースについて、主体となって行動するのは誰か、本文に明確に記載されていた方が宜しいのではと感じています。

宮本町会 うちやま やす こ 内山 康子

今まで漫然と選挙の投票に行っていました。立会人及び投票管理者をやらせて頂く機会を得て、改めて選挙の重要さを認識しました。早朝から投票所が開くのを待っていらっしゃる方ももちろん、投票所が閉まるギリギリの時間になってしまい、駅から走って駆け込んでいらっしゃった方、雨の中でも車いすで投票に見える方や、点字で投票される方、それらをサポートする選挙管理委員会の皆様のご様子など、それぞれの想いを一票に託すために払われて

いる労力がどれほどかを再認識しました。選挙で選ばれる議員の皆様には、託された想いを真摯に受け取って頂きたいです。一方で、伸びない投票率に感じるモヤモヤした気持ちもありました。一枚単位で管理される投票用紙の数と投票者数。では使われなかった投票用紙は一体どうなるのか。選挙一回にかかる費用は投票率に関わらず同じ。「行っても何も変わらない」ではなく、何かを変えるためにも投票に行きましょう。

ブラウトリエ自治会 やまもと あきまさ 山本 明正

選挙の投票立会い業務を10回位経験しています。投票人の方々の様々な人間模様を見つめさせていただきました。特に高齢者、車イスなどハンディのある方々の投票行動のひたむきさを見てると頭が下がる思いです。

そんな中、私の反省点（失敗談）を書きます。昨年7月の参議院選挙（当日）の時です。私は選挙管理者でした。投票所閉鎖少し前に隣りの立会人の方に「あと10分だね」と笑顔で話しかけました。その時です、40代位の男性（最後の投票人）から「何を考えているんだ」「もっと真面目にやれよ」と叫ばれました。その上あんた達の報酬は我々の税金から出ているんだぞ等々言われ2分間位口論になりました。しかしその時の投票所関係者皆様のやさしい仲介のおかげで何とか治りました。投票所に投票人がいる時の私語は禁物だと痛感しました。これからも様々な人間模様を見つめながら立会い業務を続けていきたいと思っています。

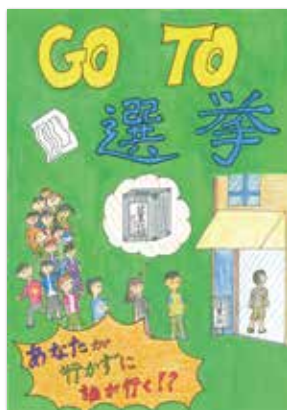
令和5年度明るい選挙ポスターコンクール 大田区明るい選挙推進協議会賞 受賞作品(4作品)

小学校(低学年)



東六郷小学校 1年生
うちむら ひな
内村 緋南さん

小学校(高学年)



大森第三小学校 6年生
かみさか たいき
上坂 泰輝さん

中学校



大森東中学校 1年生
たかはし みと
高橋 美翔さん

高校



つばさ総合高等学校 2年生
おおかわうち みさき
大川内 美咲さん

投票事務アシスタント おにづか さやこ 鬼塚 彩也子

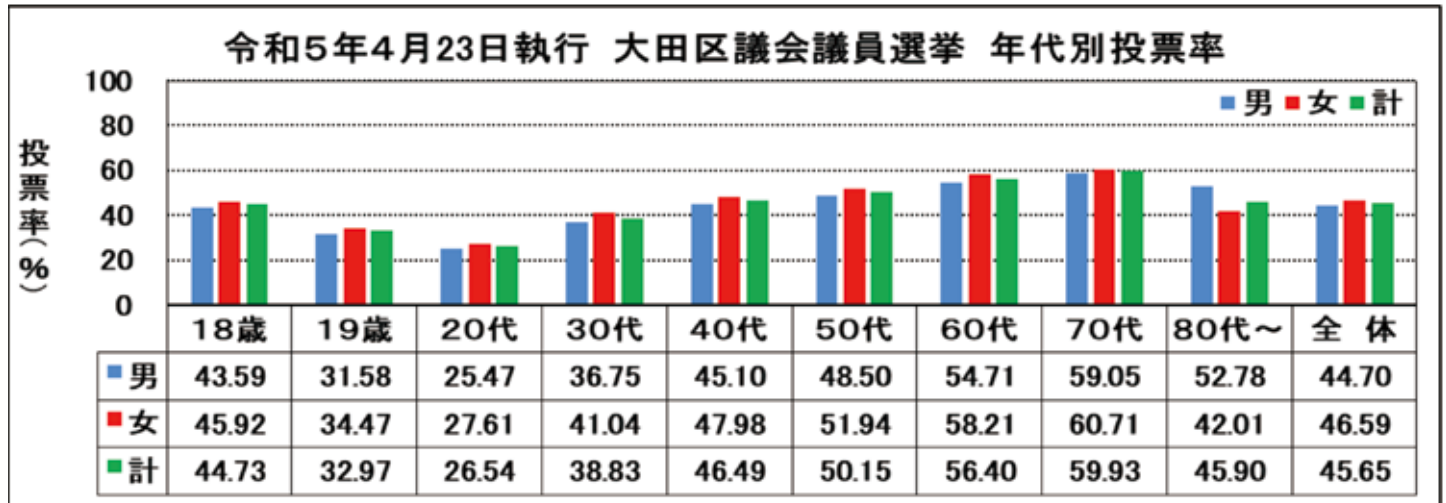
私は、2回目の投票事務アシスタントとしてお仕事をさせてもらいました。

この仕事では、選挙を実施する為の準備と片付け等の裏側、そして、選挙運営を支える多くの方が携わる事を知りました。勿論、選挙は大田区職員の方が中心ですが、地域からの立会人、警備員、シルバーの方、派遣の方もおり、経験者や未経験者も混ざり、年代も10代から高齢の方と幅広い方が混在し、同世代の方と話す機会が多い日常とは違う社会経験で

した。

投票当日には、有権者の方々から「お疲れ様」等、温かいお声を掛けて頂き、嬉しく思いました。普段、接触の少ない地域の方々ですが、繋がりを感しました。

ただ、残念なのは、有権者の方々を全般に見ると年齢層が高い方が多いと感じ、選挙権年齢も18才以上なので、自分達も政治に参加する意識を持つこと、自分が住む地域の政治を知ろうとすることも重要であり、自らの一票を大事にしなくてはと感じさせる機会でした。



OTAふれあいフェスタに出展しました

OTAふれあいフェスタは11月4日(土)5日(日)に平和島公園、平和の森公園、大森ふるさとの浜辺公園の3エリアにおいて開催となり、大田区明るい選挙推進協議会も平和の森公園エリアに出展しました。

「大田区キャラクター選挙」を実施し、5体の候補キャラクターの中から「どのキャラクターが好きか」を選び、来場者のみなさんに1票を投じてもらいました。たくさんの投票、ありがとうございました!

キャラクター選挙開票結果

投票者数 2,960人、開票率 100%、無効票 16票

候補者氏名	得票数
 めいすいくん	141
 はねびよん	1,843
 オーちゃん	172
 大根ちゃま	444
 ぴおたん	344



↑明るい選挙推進協議会の出展ブース

職場体験の中学生が来てくれました

大田区では、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲など培うことのできる教育活動として、中学生の職場体験を実施しています。馬込東中・大森第十中・大森第三中の生徒は3日間、出雲中の生徒は1日、選挙管理委員会事務局で受け入れました。



↑ 職員の説明を聞く馬込東中学校の皆さん
(左から木内さん、森田さん)

馬込東中学校 きうち たいき 木内 大貴さん

僕はこの三日間という短い期間で、たくさんの事を学びました。選管の仕事内容から始まり、様々なイベントの概要、選挙で使用する道具の点検、整備、組立など。とても内容の濃い三日間を過ごしました。何より、体験上ですが、「仲間」と共に作業ができることがとても貴重に感じました。三日間だけですが、選管の一員として働くことができたことを誇りに思います。

この体験で得たことを、学校生活や、これからに活かしていきたいです。

馬込東中学校 もりた しん 森田 臣さん

今回の職場体験をする前に「選挙管理委員会」と聞くと、とても堅いイメージがありました。ですが、実際に選挙管理委員会の方々のお話を聞くと、みなさん元気そうで安心しました。特に倉庫の整理を手伝った時には、時々笑い声が聞こえてきたりしてなごみました。

僕はこの職場体験でいろいろな所に行ったり、たくさん作業をしたりして、少し疲れましたが、ここで働いている人はこれ以上に大変な仕事を毎回しているのだと思い、とても尊敬しました。僕もちゃんと会社で働こうと思います。



↑ ポスター掲示場の設置場所調査を行う大森第十中学校の皆さん (左から有澤さん、関さん)

大森第十中学校 ありさわ せれん 有澤 星恋さん

選挙に対して私は、「大人になると投票ができる」という印象がありました。しかし、選挙管理委員会事務局様での職場体験でその印象が大きく変化しました。

一つ一つの選挙ごとに物品の整理や点検、ポスター設置場所の確認など多くの時間をかけどんなことでも気を配っている、その姿に私は強く憧れました。

選挙には多くの人々が関わっている。その事実から私は持っていた印象が「様々な方達の努力の結晶」に変わりました。私は成人したら必ず投票所に足を運びたいと思います。

大森第十中学校 せきりょうま 関 凌馬さん

僕は今回選挙管理委員会事務局で職場体験をして、選挙を行うことの重要さ、大変さについて改めて理解することが出来ました。僕は中学校で選挙管理委員会として生徒会選挙に関わって来ましたが、実際の選挙管理委員会はどのようなものかについて気になっていました。しかし、今回の職場体験を通して、実際の業務について理解することが出来ました。

自分にはまだ選挙権がありませんが、成人したら選挙に行こうと思います。



↑ポスターコンクールの説明書きを作成する大森第三中学校の皆さん（左から北林さん、田巻さん）

大森第三中学校 きたばやし さよこ 北林 小夜子さん

私は職場体験を通し、選挙について詳しく知ることができました。選管と聞いて、最初は選挙の期間で主に働くイメージがありましたが、ポスター設置場所の確認や備品の管理など、普段から一つ一つ準備されていることを知りました。また、選挙に関する法律がとても細かく決められていて、改めて選挙は大切なものだなと思いました。

この3日間の貴重な経験を今後の進路学習に活かしていきたいです。

大森第三中学校 たまき にこ 田巻 笑子さん

今回この体験を通して、選挙は自分の思っている何百倍も大変なものなのだと実感しました。特に全て機械で行うと思っていた票を数える作業に、人の手が加わっていると知った時は凄く驚きました。身近に当たり前にある選挙は、色々な人の努力で公正に行われているという事を知れる良い機会となりました。

私も18才になったら、選挙権を持っているという自覚を持ち、しっかりと選挙に足を運ぶようにしようと思うことが出来ました。



←選挙資材倉庫で作業をする出雲中学校の皆さん
※出雲中学校の皆さんは1日のみの体験だったため、寄稿文はございません。

インターン生を受け入れました

大田区では学生の職業意識の向上と行政に対する理解を深めることを目的に、インターン生を受け入れています。今年は、選挙管理委員会事務局でも受け入れを行いました。

インターン生 中央大学 3年 のぐち さくら 野口 桜

大田区の選挙管理委員会でのインターンシップを通じて、選挙の裏側の業務やその重要性について深く理解できるような体験をさせていただきました。

選挙管理委員会での過去の事例調査や投票用紙の保管状況の視察は、日常では接することのできない貴重な学びとなりました。大田区役所は東京都内でも大規模な組織で、異なるバックグラウンドを持つ職員が集結しており、その多様性に感銘を受けました。最終日には、新Q&A作成計画の提案を行い、職員の方からの具体的なフィードバックや意見を受け取ることができ、私の考え方や成長に大きく役立ちました。このような実務経験により、今後のビジネスの場での課題への取り組みや意思決定の際の視野が広がると確信しています。

今回のインターンシップを経て、地方自治への関心と尊敬の念を深めるとともに、公共サービスを支える方々の重要性や尽力を実感いたしました。

インターン生 明治学院大学 2年 こばやし ゆうこ 小林 由布子

私は今年、東京都議会議員補欠選挙の手伝いをさせていただきました。選挙の手伝いは長時間かつ責任ある内容でしたが、自分がいつも投票者側で訪れる投票所に今度は運営側として回るのは大変面白い経験でした。この経験をきっかけに地方自治体の仕事に興味を持ち、ご縁があり選挙管理委員会でのインターンをさせていただきました。

選挙管理委員会では、ホームページに掲載する選挙に関するQ&Aの作成と、問い合わせ内容をデータベースにうつす業務を行いました。これらの業務を通じて、選挙について私もまだ知らないことが沢山あると気づかされました。

公平で公正な選挙を行うには、選挙中だけでなく、日頃から絶えず規定に違反していないか厳格な注意が必要です。そのためにも、選挙管理委員会の業務は、広く知られていないかもしれませんが、日本の民主主義の基盤を支える非常に重要な業務であると感じました。

委員長よりひとこと



↑左から山崎勝広委員、飯田茂委員長職務代理、田中一吉委員長、岸田哲治委員

委員長よりひとこと

大田区選挙管理委員会委員長 田中 一吉

みなさん、こんにちは。大田区選挙管理委員会委員長で大田区明るい選挙推進協議会会長を務めます田中一吉です。日ごろから、明るい選挙推進活動に多大なるご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年5月の大田区議会臨時会で、私を含め4名が選挙管理委員に選任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は4月に統一地方選挙で大田区議会議員・大田区長選挙とその大田区長選挙に東京都議会議員2名が立候補したことにより、急遽6月に東京都議会議員補欠選挙が行われました。明るい選挙推進委員をはじめとする地域の多くの皆さまに、投票所の投票管理者・投票立会人を務めていただきました。ご協力に感謝するとともに、心より御礼申し上げます。

また、昨年10月には委員の皆さまを対象とした研修会を開催し、今後の啓発活動について活発なご議論をいただきました。皆様から出された貴重なご意見・ご要望を今後の啓発にどのように活かせるかについて事務局に検討を指示しています。

本年は、7月に東京都知事選挙が予定されております。私達選管委員も推進委員の皆様と共に、これまで以上に広報活動や啓発活動に積極的に取り組み、投票率の向上を目指してまいります。

令和6年7月7日(日)は 東京都知事選挙の予定です

令和6年7月30日に任期満了を迎える東京都知事選挙が令和6年7月7日(日)に行われる予定です。前回の東京都知事選挙の投票率は、大田区で53.44%、東京都全体で55.00%でした。選挙公報やポスター掲示場などで、各候補者の政策等をチェックいただき、ぜひ投票ください。

郵便等による不在者投票

身体障害者手帳又は介護保険被保険者証をお持ちの方で、下記の要件に該当する方は郵便等による不在者投票ができます。

●身体障害者手帳の要件

障害名	障害の程度		
	1級	2級	3級
両下肢、体幹、移動機能の障害	○	○	△
心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の障害	○	—	○
免疫、肝臓の障害	○	○	○

●介護保険被保険者証の要件

要介護状態区分	要介護5
---------	------

◆郵便等による不在者投票の手続き

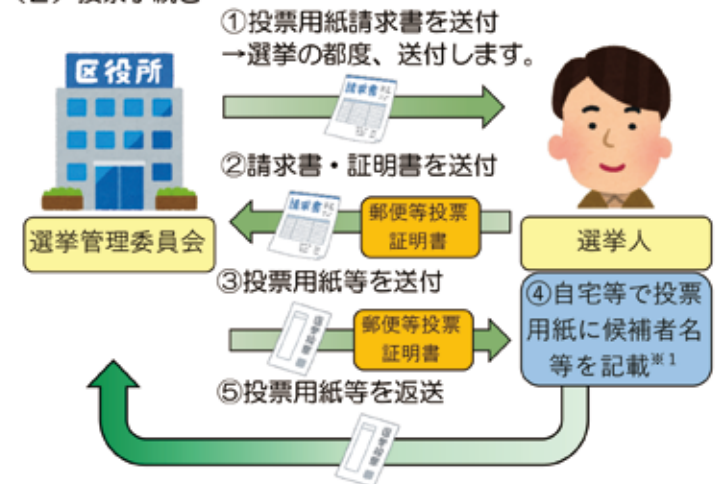
郵便等による不在者投票の手続きは次のとおりです。

(1) 郵便等投票証明書の交付申請

→事前に交付を受ける必要があります。



(2) 投票手続き



※1 一定の要件を満たす方は、代理記載制度が利用できる場合があります。詳しくは選挙管理委員会事務局（電話：03-5744-1464）までお問合せください。

投票手続きは郵便で書類の送付や返送をするため時間がかかりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

編集委員

協議会副会長	福井 省三	(大森西地区)
//	世良田 光代	(田園調布地区)
//	横山 智恵子	(蒲田西地区)
協議会委員	岡本 勝子	(池上地区)
//	西條 誠一	(新井宿地区)
//	飯田 幸男	(久が原地区)
//	藤沢 マチ子	(雪谷地区)
//	細田 泰昭	(糀谷地区)

発行 大田区明るい選挙推進協議会
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1462